

叙勲 瑞宝单光章 受章



かわさき まさし
川崎 政士

昭和37年11月6日生 (62歳)

学 歴

昭和60年3月31日 城西放射線技術専門学校 卒業
昭和61年5月12日 診療放射線技師免許取得 (第26958号)

職 歴

自 昭和56年4月1日	目白第二病院	助手	勤務
至 昭和61年5月11日			
自 昭和61年5月12日	目白第二病院	診療放射線技師	勤務
至 昭和62年3月31日			
自 昭和62年4月1日	目白第二病院	副主任	就任
至 平成2年3月31日			
自 平成2年4月1日	目白第二病院	主任	就任
至 平成9年5月20日			
自 平成9年5月21日	医療法人博生会	西多摩病院 診療放射線技師	勤務
至 平成19年4月30日			
自 平成19年5月1日	医療法人社団	大聖病院 診療放射線技師	勤務
至 令和3年3月31日			
自 令和3年4月1日	医療法人社団	大聖病院 主任	就任
至 令和5年3月31日			
自 令和5年4月1日	在家庭		
至 現 在			

団体歴

自 平成8年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員
至 平成19年3月31日			
自 平成19年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員長
至 平成21年3月31日			
自 平成21年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	理事
至 平成23年3月31日			
自 平成23年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員長
至 平成24年5月25日			
自 平成24年5月26日	公益社団法人	東京都診療放射線技師会	理事
至 平成26年6月22日			
自 平成26年6月23日	公益社団法人	東京都診療放射線技師会	地区委員
至 令和6年3月31日			

賞罰歴

平成29年6月29日 小野賞 (公社) 東京都診療放射線技師会 (地域医療功労)
令和2年6月21日 東京都福祉保健局長感謝状 (診療放射線業務に精励、都民の健康保持と増進に貢献)
令和3年10月1日 東京都功労者表彰 (労働精励)

「瑞宝単光章受章」にあたり

川崎政士

令和7年4月29日に発表があり、瑞宝単光章を受章いたしましたことをご報告させていただきます。

今回、体調が悪いため受章式および拝謁式には出席できませんでした。

私が診療放射線技師を目指したのは、高校一年の時に受けた職業適性試験の結果に診療放射線技師を見つけたからです。そこから努力したのですが、高校卒業して1年、技師学校卒業して1年、合計助手生活を5年過ごしました。

卒業して技師になるのが目標だったため、その後は何もしていなかったのが現状でした。地域の技師と交流がなかったため、第13地区の方々と知り合い、知識と技術の研鑽が必要なのだと気付きました。そこからいろいろな場所に出向き参加して、いつの間にか、役員になって参加してもらう側になっていました。

地区委員から地区委員長、地区理事、支部委員長と歴任して6期11年を過ごしました。その間に技師会活動の一環である、市民の健康フェアや立川市にある自衛隊基地の航空防空祭で展示や乳がん触診モデルを用いた触診体験などに参加させていただきました。このような時に、執行部や役員の方々、地区委員や支部の方々のご協力により成功裏に終えることができたのだと思います。ご協力いただいた方には感謝しております。

このようなすごく良い関係性は、これからも続いていくと思っております。

最後に今回の受章に際して、執行部の皆さま、選考していただいた方々、いろいろと連絡していただいた渉外委員長の高野様、ありがとうございました。

東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員のご健勝を祈願して、ご挨拶とさせていただきます。

川崎政士先生 瑞宝単光章ご受賞 祝辞

会長 江田哲男

このたび会員である川崎政士先生が本会からの推薦により、令和7年春の叙勲「瑞宝単光章」を受章されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

川崎先生におかれましては、平成8年より平成19年3月末までの長きにわたり、本会第13地区委員としてご尽力いただきました。そのご熱心なご活動が認められ、平成19年4月からは第13地区委員長にご就任、さらに平成21年4月には地区理事としての重責も担っていただき、その後も、平成26年3月末まで委員長として1期、地区理事としても1期務められ、本会の事業および地区活動の発展に多大なる貢献をいただきました。

中でも、2011年3月に発生した東日本大震災の際には、福島第一原子力発電所事故に伴う被災者のサーベイ活動に自ら志願され、昼夜を問わず現地での支援に従事されました。派遣技師の確保が困難な状況下においても、先頭に立って対応され、結果として本会最多となる14日間にわたり活動に参加。24時間体制で進められたサーベイ業務では、夜間においても力を尽くされ、被災者に寄り添った支援を実現されました。

また、測定業務にとどまらず、作業に必要な簡易マニュアルの作成にも積極的に関与され、チーム全体の円滑な運営にも大きく貢献されました。

地区活動においても多摩地区を一つにまとめ、セミナーなどの勉強会を企画し、地区の会員へも大変貢献されました。

以上の功績が称えられ、平成29年に地域医療功労として小野章、そして令和2年には東京都福祉保健局長感謝状を受賞され、令和3年には東京都功労者表彰も受賞されています。

この度の川崎先生のご受章は、診療放射線技師としてのご活躍が国民に対し、大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も川崎先生の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会へのご指導を賜りますようお願い申し上げます。